



## 【記録写真】「親子・昆虫観察会とクラフト体験」(1/2)ー 主催 網張ビジターセンター



【メモ】  
【日時】 平成元年8月11日 9:00 ~ 15:30 頃 【天候】 晴  
【場所】 網張VC周辺  
【参加者総数】

・一般参加者(大人)	22名
・一般参加者(子供:名ハンター)	8名
・講師	9名
・VC	1名
・PV	2名
	2名

### 【概況】

- (文責:家子)
- ・ 網張VCの坂内さんの事前説明後、VCの前に集合し、伊達講師より「虫が隠れている所、捕獲の仕方:虫取り網・叩き網」等の説明があり、いよいよ出発!
  - ・ ところが、名ハンターたちは次から次へと色々な昆虫を捕獲し、伊達先生に鑑定を依頼、伊達先生もその依頼を童心に返ったように?、子供たちに一つ一つ嬉しそうに説明するなど、VC前だけで1時間超過し、坂内さんより「次の工程に進むように」催促される一幕もあった。
  - ・ 次の工程(神社前付近)では、モグラの穴に指を入れて土の中の状況を確認したり、蟻地獄の様子を確認したり、初めての体験の方が多く、目を輝かしていた。
  - ・ 最終ステージに向かう途中で現れたのが「アサギマダラ」、子供の名ハンターがすぐ捕獲に成功したが、観察中のチョットした隙に逃亡され、それを見ていた親ハンターが伊達講師より秘密兵器(長さ約5mの虫取り網)を借りて果敢に挑戦、蝶に近づくと一旦は逃避するも、少し舞い戻った隙を同ハンターは見逃さず空中キャッチ、ギャラリィは一斉に拍手喝采。
  - ・ 最終ステージ(白樺ロッジ)では、広々とした草原で、親子ハンターが昆虫探しに楽しんだ。
  - ・ 午後は午前中の体験を生かした昆虫のクラフト体験、坂内さんの作り方の説明、福山PVの道具の使い方の説明のあと、名ハンター達は思い思いの創作を開始。  
使い慣れない材料や道具を駆使し、思い思いの昆虫を制作し、その後、作成の内容、苦労した点等の発表と伊達講師の講評が行われた。  
伊達講師からは、観察力の正確さ、創造力の素晴らしさ等のお褒めの言葉が沢山ありました。
  - ・ 「ふり返りでは、子供達より、「色々な昆虫のお話が聞いて良かった。」「楽しかった。」親からは、このような機会を創っていただき有難うございました。また、来年も参加したいと思います。」等好評でした。(リピーターで大阪より参加した家族もあった。)

### 【フィールドで出逢った主な昆虫】

スジコガネ、アキアカネ、ヒナバッタ、イタドリハムシ(テントウムシの仲間)、オトシブミ、セマダラコガネ、ヒメクサキリ、ハサミムシ、コエゾゼミ、アオダイショウ、トゲカメムシ、エゾカメムシ、フキバッタ、ザトウムシ、キノカワガ、キマダラヒカゲ、ナキイナゴ、ヒゲシロハナカミキリムシ、アサギマダラ、ムシヒキアブ、キアゲハの幼虫、ツツハムシ、ニホンカナヘビ、アワフキムシ、ニホントカゲ、他

〈今回参加PV〉 2名 敬称略、順不同

福山、家子

〈写真提供〉VC:大堀、家子PV



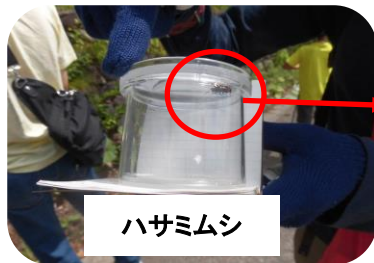
事前説明後  
VC前に集合



伊達講師:虫の取り方等の説明



ヒナバッタの泣き方観察



ハサミムシ



イタドリハムシ



叩き網使用



ヤマアカガエル



モグラトンネル  
指で中を確認

〔記録写真〕「親子・昆虫観察会とクラフト体験」(2/2)ー

主催 網張ビジターセンター

アリジゴクの観察



アサギマダラを空中キャッチ



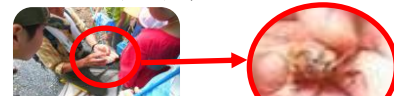
再キャッチされたアサギマダラ



吊り橋を渡り最終ステージへ



エゾゼミとコエゾゼミの説明



コエゾゼミのぬけがら



キアゲハの幼虫



白樺ロッジで親子ハンターが昆虫探し



20190811白樺ロッジで集合写真

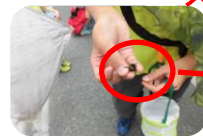
アワフキムシ



ニホンカゲ



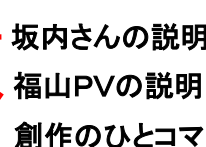
トノリマハタ



スジコガネ



ニホンカナヘビ



坂内さんの説明  
福山PVの説明  
創作のひとコマ



作品を片手に集合写真



作品の発表と伊達講師の講評  
(観察力の鋭さにしきりに感心)



細かいところまで表現された作品 (写真で細部まで見えないのが残念)